



# Snowmonterey

## 巻頭言

石狩スキー連盟 会長 大江 徹

石狩スキー連盟の活動は、皆様の温かいご支援のおかげで、この一年間を無事に終えることができました。さまざまな事業において、皆様からのご支持とご協力に心より感謝申し上げます。

昨年度の事業では、教育部による指導者養成講習会において、16名の新たな指導員、準指導員、認定指導員が誕生しました。また、会員事業部では、多くの会員の方々が初滑りやスキルアップ講習会に参加し、技術向上と親睦を深めることができました。今期から新たに「夏トレ」として軽登山を実施し、会員の皆さんと楽しく登山を楽しみました。強化事業では、多くの方々がテク・クラ講習会に参加され、新たにジュニア育成事業として、デモンストレーターによるジュニア強化事業を実施しました。スキー技術選手権大会では、10名の選手が全日本技術選手権に出場し、石狩連盟会員の声援を受けて素晴らしい成績を収めました。渉外事業部では、市民スキー大会が会場の都合により残念ながら中止となりましたが、今後も皆様の協力を得て、より一層の活動を目指していきます。

新しい事業年度を迎えるにあたり、連盟では従来の各部門の活動に加えて、子どもたちへのスキー普及をさらに推進してまいります。学校でのスキー授業支援やスキー大会での子どもの参加を通じて、スキー普及の発展に寄与するとともに、昨年度実施したジュニア強化事業を基盤とした「親子ジュニアスキー教室」などを開催し、ジュニア育成事業を強化していきます。また、会員相互の親睦を深め、技術向上を図る事業の充実を図り、各部門の活動を通じて、会員の皆様に楽しんでいただけるプログラムやイベントを提供していく予定です。

連盟事業の情報伝達に関しては、昨年度から「BAND」アプリを活用して情報提供や事業参加の調整を行っています。すでに会員の半数以上の方にご利用いただいておりますが、まだご利用されていない方々には、ぜひともアプリのご利用にご協力いただけますようお願い申し上げます。

最後に、今シーズンもケガなく、楽しくスキーを楽しみましょう。今後とも石狩スキー連盟へのご支援とご協力をお願い申し上げます。

## 指導員・準指導員合格おめでとうございます

今シーズンの指導員・準指導員の合格者は次の方々です。養成講習はどの連盟よりも充実した内容だったと思います。受講生のみなさん講師のみなさんお疲れ様でした。

合格おめでとうございます。

- ・指導員 秋元 日菜子さん、大多賀 翼さん、中島 加奈さん、西山 慈温さん、林 英邦さん
- ・準指導員 井内 美里さん、奥井 幸秀さん、切明 弘さん、斉藤 小百合さん、佐藤 樹彦さん、高橋咲耶さん、田澤友輝さん、半澤琢磨さん、藤本 理紗さん、和田 英真さん
- ・認定指導員 松尾 愛さん

資格を取得された方に受検の動機やスキーへの思いを綴っていただきました。ありがとうございます。

### 和田英真

スキー歴は16年ですが、今回の試験を経てまだまだ知らない知識や技術があるのだと分かりました。準指導員を合格していく中で、それらを少し学ぶことができたと思います。石狩連盟の方々はとてもフレンドリーで、楽しみながらスキーを学べる空間でした。これからは技術選プレイヤーとしてスキーを続け、指導員の合格、その先はデモンストレーターとして指導していく道を目指していきたいと思います。以上になりますが、今後ともよろしくお願ひ致します。

### 準指導員試験を振り返って

### 切明 弘

3年前、子供に教えるために始めたスキーが、気づけば家族の誰よりも没頭してしまい今日に至ります。準指導員試験に挑戦した今シーズンは、とても充実した日々で、あっという間に過ぎてしまいました。講師の皆様から教わる全てが新鮮で、理論に基づく技術の大切さを痛感する日々でした。貴重な時間を裂いて、受講生である私達のため献身的に指導して下さいました事、寒い中で毎回動画による記録を残して頂いたこと、感謝の気持ちで一杯です。受験生の皆さまとは、今シーズンの大半を共に過ごさせて頂きました。苦楽を共にできる仲間恵まれ、励みとなりました、本当に有難うございます。今シーズンの思い出を糧として、来シーズンも新しい事に挑戦して、技術向上に邁進しようと思います。

### 長い道のりを乗り越えて

### 奥井 幸英

愛知県に生まれ、愛知県で育ち、愛知県で就職。その後、広島、福岡へと転勤を重ね、雪とはほぼ関係のない生活でしたが、2005年42歳で北海道に赴任いたしました、スキーとの出会いは思いもかけないところからでした。北24条駅周辺に単身赴任の住まいを設け、地域に馴染み始めた7月、行きつけの居酒屋さんと、隣合わせとなりました初対面の紳士から「冬になったらスキーにおいでよ」と連絡先を交わしました。その後、この紳士をお見かけすることもなく晩秋を迎えたものです。その秋も深まったある日、件の紳士より突然「テイネオリンピアスキー場にいるからおいでよ」と連絡をいただきました。単身赴任ということもあり、プライベートで外に出るのは、買い物と居酒屋通いくらいでしたので、出かけてみようかと腰を上げたのでした。程なくしてオリンピアスキースクールに入会し、私のスキー人生が始まりました。スキーを上手になりたいこともさることながら、スキースクールの先生方やスクール生とリフトでお話をするのが楽しく、毎週土日に通うようになりました。スキーが人と人の繋がりを設けてくれたと感謝したものでした。2年後に家族も札幌に越してきましたので、家内にもスキーを勧め、オリンピアスキースクールにお世話になることになりました。みるみるうちに家内の方が上手になり、時間はかかりましたが、2級→1級→準指導員と進んでいきました。いずれは私もと考えているうちに55歳を迎え、定年までには準指導員と、検定の世界へ足を踏み入れたのです。家内が所属しております石狩スキー連盟にお世話になり、理論研修から先生方に熱心に教えていただきました。技講習では悪天候の中でも、熱心にご指導いただく先生方に感謝感謝でした。実力不足で、ここから長い長い道が始まるのでした。初年度、2年目と落として、3年目はシーズン2日目で転倒、12月に上腕骨近位端骨折手術で棄権、4年目の6月には肩腱板断裂、結節剥離骨折手術で左手が上からず、十分な練習もできないまま受験し不合格。5年目は仕事の都合で北会場にて受験し不合格。6年目、ここまで来ると受験が趣味みたくなり、練習が楽しくなってきました。ようやく合格できましたのは、先生方の温かい励ましと、諦めないご指導の賜物と本当に感謝いたしております。6年間たくさんの受験生の方とも知り合うことができ、仲間としての繋がりもスキーが与えてくれました。断腸の思いをされた受験生の方々、私のようにいつまでも諦めずにトライして欲しいと願います。最後に、12月入院時、大晦日の夕食に「おせち」が出たときに、これが北海道と強く感じました。

### 中島 加奈

指導員合格まで呆れるほど時間がかかりました。情けなく悔しくへこむことはありましたがそれでも冬が来るのが待ち遠しくスキーが始まるワクワク感はずっと変わらず過ごしてきました。(そう言えば「一年中冬だったらなあ」と呟いていた受験生のAさん。それだと多分身体を壊します...)冬が終わるのが惜しいほど熱中しこれまでずいぶん検定では力が入りすぎていたのでしょう。今シーズンは少しでもレベルアップが出来ればと肩の力が抜け心静かにスキーに向き合うことが出来ました。長年にわたり石狩連盟の先生方の温かく熱心なご指導や動画撮影など細やかに支えて頂き本当にありがとうございました。また明るく頼もしい受験生の皆さんにはたくさんの刺激と励ましを頂きました。スキーの検定を通じて素敵な皆様と出会えたことに改めて感謝しております。そしてこれからもどうぞよろしくお願ひ致します。